

特 別 委 員 会 調 査 報 告

平成30年 2 月 1 9 日

薩摩川内市議会

川内原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 成 川 幸 太 郎

1 委員会の開催日

1月22日（委員会）及び2月3日（原子力防災訓練視察）

2 川内原子力発電所の安全対策に関する調査

(1) 川内原子力発電所の運転状況について

1月22日、当局から、1号機及び2号機はそれぞれ通常運転中であり、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を下回っていること、固体廃棄物の貯蔵率は66.3%であること、使用済燃料の貯蔵率は63.2%であること、新燃料は104体を貯蔵していること、法に基づき国へ報告を要する事象等は該当がないことについて報告があった。

なお、1号機は1月29日から、2号機は4月下旬から定期検査に入る予定であるとの説明を受けた。

(2) 平成29年度鹿児島県原子力防災訓練について

ア 1月22日、当局から、鹿児島県、本市及び関係市町が、国・事業者等と共同して総合的な原子力防災訓練を2月3日に実施することについて報告があった。当日の訓練は、薩摩半島西方沖を震源とする最大震度7の地震が発生したことにより、川内原子力発電所1・2号機の外部電源が喪失し、2号機については、非常用電源の故障に伴い全交流動力電源が喪失することにより、全面緊急事態となるとともに、非常用炉心冷却設備による注水が不能となり炉心溶融に至る等の想定で行われ、PAZ内では要配慮者や福祉施設入所者及び一般住民の避難訓練を、UPZ内では湯田、西方地区の住民による一時移転訓練や避難経路上の鹿児島県森林技術センターにおいて避難退域時検査等を行う予定であるとの説明を受けた。

イ 2月3日、原子力防災訓練を視察し、市の災害対策本部会議のほか、川内原子力発電所における通報訓練、滄浪地区における住民避難訓練、鹿児島県森林技術センターにおける避難退域時検査、蒲生小学校におけるUPZ避難所運営の状況等を確認した。